

令和 4年度 施策評価シート（令和 3年度実績評価）

政策 04 快適に暮らせるまち

施策 01 調和の取れた市域の形成

主管課： 都市計画課

関係課： 企画課、建設課

1 施策の目的

対象（誰、何を対象としているか） 市域	意図（どのような状態にしたいのか） 秩序ある市域が形成され、調和のとれた発展が続くまちをつくる。
------------------------	---

2 施策の成果状況（意図の達成度を図る成果指標とその動向）

調和のとれた土地利用がされていると思う市民の割合						(%)	都市計画課
基準値 (H26)	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	目標値 (R03)	
61.50	67.90	67.20	64.10	72.20	72.20	62.00	
向上指針	上がると良い	(状況) 前年度と比較して増減はなく、目標値は達成しています。 (原因) 土地区画整理事業により計画的な街づくりを進めてきているため、成果は比較的高い水準で安定していると考えられます。					
対前年度	横ばい						
目標達成度	達成						
次年度課題	課題としない						

基準値 (H26)	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	目標値 (R03)
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
向上指針						
対前年度						
目標達成度						
次年度課題						

基準値 (H26)	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	目標値 (R03)
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
向上指針						
対前年度						
目標達成度						
次年度課題						

3 施策に係るコスト（単位：千円）

	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度
	決算	決算	決算	予算	見込
事業費合計	29,109	80,881	429,654	94,881	44,378
人件費	67,425	67,346	48,518	0	0
トータルコスト	96,534	148,227	478,172	94,881	44,378

4 基本事業の状況

基本事業名称	成果指標の動向					事業費				
						R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度
01 計画的な土地利用	向上	低下				23,474	60,962	409,226	60,285	13,934
02 適切な規制と誘導	横ば					209	45	97	187	118
03 空き家対策の推進	維持	維持				46	0	0	5,572	117
99 施策の総合推進						5,380	19,874	20,331	28,837	30,209

5 施策全体の取組状況と課題

前年度の取組内容、成果及び次年度以降に向けた課題

都市計画マスタープランの改定やもりや工業団地における都市計画の変更を行った。 新守谷駅周辺地区の区域区分や用途地域等の都市計画決定に向け、土地利用計画について地権者や関係機関と協議を進めた。また、守谷SAスマートIC周辺地区においては、事業認可の取得に向け土地所有者による組合設立準備委員会を設立した。 そのほか、大規模盛土造成地の第二次スクリーニングへ向けた計画の作成や空家対策の取り組みを行った。	推進状況	順調
	次年度への課題	課題あり
	成果方向性	向上
	コスト方向性	増加

当該年度の全庁決定の方向性（前年度の全庁政策会議での決定事項）

持続可能なまちづくりを目指し、策定した立地適正化計画や都市計画マスタープランにより、調和のとれた計画的なまちづくりを推進します。また、守谷駅周辺の低利用地を活性化するため、都市機能施設を誘導するよう構築します。 新守谷駅周辺地区は、事業認可取得に向けて調整、協議を進めていきます。 守谷サービスエリア周辺地区は、業務代行予定者の選定や事業認可取得に向けて調整、協議を進めていきます。	成果方向性	向上
	コスト方向性	削減

次年度の方向性

将来的に持続可能な都市としての成長を目指し、守谷市都市計画マスタープラン及び守谷市立地適正化計画に基づくまちづくりを推進する。 具体的には、守谷駅周辺の土地利用の活性化を促進するとともに、新守谷駅周辺地区においては、組合設立認可の取得を目指し、守谷SAスマートIC周辺地区においては、事業推進のための諸課題解決のため組合設立準備委員会や業務代行予定者と関係機関との調整・協議を遂行していく。	成果方向性	向上
	コスト方向性	削減